

ほけんだより

春日井市立坂下中学校 2010. 12.8 No. 8

毎年、年末から年始にかけて流行がみられる感染性胃腸炎。今年は、流行が早まっているようです。国立感染症研究所の発表によると10月中旬から11月中旬まで、小学生以下の子どもたちを中心にノロウイルスが4週連続で増加中です。この時期では、調査以来過去最大の発生率といわれています。

今後、さらに感染拡大が予測されますので、集団生活の場では十分な手洗いで予防をしましょう。

感染性胃腸炎はノロウイルスをはじめとするウイルス、細菌、寄生虫などによって引き起こされる胃腸の疾患です。

下痢を主症状とする感染症で、その他に発熱、吐き気、腹痛などが見られます。

ウイルスによる感染性胃腸炎は、ウイルスが口から入ることにより感染しますが、ノロウイルスは特に感染力が強く注意が必要で、食物や水に含まれるウイルスだけでなく、患者の便や吐物に含まれるウイルスによる二次的な感染があります。



< 予防 >



- 1 食事前・トイレの後・帰宅時などに、石けんを使ってきれいに手を洗う。
 - * 爪を短く切って、指先・爪の生え際・手首のあたりまででいねいに洗いましょう。
 - * 石けんには、ウイルスを撃退する効果はありませんが、手の油分などの汚れを落とすことにより、ウイルスが手指からはがれやすくなる効果があります。

- 2 加熱が必要な食品は十分に加熱する。



- 3 感染性胃腸炎にかかっている人の便や吐物を処理する場合は、手袋・マスクをつけてから行う。
 - * 保護者の方へ：便や吐物に含まれるウイルスが空気中に舞い上がって感染することもあるとされています。気をつけてください。

症状が現れたら速やかに受診しましょう。治療は安静と対症療法となります。

12月3日(金)本校の学校薬剤師の木村先生に、3年生の生徒を対象にして、薬物乱用防止についてのお話を聞きました。



『学校薬剤師の仕事とは』『薬の使い方』『薬物乱用防止』について、タバコ、アルコールだけでなく、MDMAやシンナーなどの害についてもわかりやすく教えて頂きました。薬物依存の恐ろしさや、法的な厳しい罰則についても聞きました。自分を大切に、薬は用法用量を守って正しく使う、薬物には絶対手を出さない、というお話でした。

＜生徒の感想＞

- ☆ 学校薬剤師って言葉は聞いたことはあったが、実際どんなことをしているかは、今日初めて聞きました。私はこれから自分を大切にして、相手のことも考えることができる人になりたい、と思いました。
- ☆ 薬物乱用は体をガタガタにする、と聞いていたので、絶対にやりたくないと思いました。あと、先輩や、知らない人からの誘いも、断ろうと思いました。
- ☆ 薬物を一回でも使ったら、薬物乱用と言うことがわかったから、タバコでも絶対吸わないようにしようと思いました。
- ☆ 改めて薬物乱用はいけないことだと思った。自分は自分で守らないと、と思った。薬も何も考えずに飲んでいたけれど、副作用とか色々怖いと思った。薬を飲むときは、ちゃんと用法用量を守らないといけないなあと考えた。
- ☆ サプリメントが医薬品ではなく食品だった、と聞いて驚いた。画像で3歳ぐらいの子どもがタバコを吸っているのを見て、子どもがかわいそうで、親はどうしたのだろう、と思った。絶対に薬物には関わらないようにしよう、と思った。
- ☆ 保健の授業で習ったけど、薬剤師の先生に話を聞き、やはり薬物はいけないと思った。よその国では、薬物乱用で死刑になることもある、と聞いて日本の法律は少し甘いかなと感じた。
- ☆ くすりを反対から読むと、リスクって言うのがへえ～と思った。薬物は、誰に誘われてもきっぱりと断れる勇気を持とうと思った。

